



 **NADEX**

ナ・デックスレポート

第74期 中間報告書

2023年5月1日～2023年10月31日

証券コード：7435



ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第74期第2四半期累計期間(2023年5月1日から2023年10月31日まで)の営業状況を報告し、今後の事業展開につきましてご説明させていただきます。ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 進藤 大資

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、個人消費や設備投資などの社会経済活動の持直しの動きが継続しておりますが、エネルギー価格の高騰、急激な円安の進行など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和される中で、先進国を中心に持直しの動きが継続しておりますが、長期化する米中貿易摩擦、ウクライナ情勢や中東地域などの地政学的リスク、金融資本市場の変動など、国内と同様に景気の先行きは依然として不透明な状況で推移い

たしました。

当社グループの主要得意先である自動車関連企業につきましては、半導体不足の緩和による自動車の生産台数の回復を背景に好調に推移いたしました。

このような状況の中で、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は161億3千万円と前年同四半期に比べ19億3千4百万円(△10.7%)の減収となり、営業利益は3億5千3百万円と前年同四半期に比べ6億5千9百万円(△65.1%)、経常利益は4億7千8百万円と前年同四半期に比べ6億2千4百万円(△56.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千9百万円と前年

同四半期に比べ2億7千5百万円(△44.0%)のそれぞれ減益となりました。

▶ 連結業績につきましては、P5「連結財務ハイライト」をご参照願います。

現在、当社グループは、2024年4月期を最終年度として策定いたしました新たな中期経営計画に基づき、創業以来培ってきた「接合」技術をコアコンピタンスとして、FAシステム・生産設備などのメーカー機能とグ

ローバルネットワークを有する商社機能に、さらにシステムインテグレーター機能を掛け合わせることで、スピード化・多様化する顧客ニーズの変化に柔軟に対応できる取組みを進めております。

これからも企業価値ならびに株主価値の向上に資する経営に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域別業績

日本

売上高 131.5億円
営業利益 1.6億円

日本につきましては、自動車関連企業向け生産設備の売上が増加したものの、電気機器関連企業向け生産設備の売上が減少したこと、また前年同四半期には円安効果があったことなどにより、売上高は131億5千1百万円と前年同四半期に比べ15億6千3百万円(△10.6%)の減収となり、営業利益は1億6千万円と前年同四半期に比べ4億7千7百万円(△74.8%)の減益となりました。

北米

売上高 20.0億円
営業利益 2.1億円

北米につきましては、全米自動車労働組合のストライキの影響により、自動車関連企業向け自社製品の売上が減少したものの、生産設備の売上が増加したことなどにより、売上高は20億2百万円と前年同四半期に比べ5千万円(2.5%)の増収となりましたが、営業利益は2億1千8百万円と前年同四半期に比べ6千2百万円(△22.1%)の減益となりました。

中国

売上高 8.1億円
営業損失 △0.1億円

中国につきましては、自動車関連企業向け生産設備および工作機械関連企業向け制御部品の売上が減少したことなどにより、売上高は8億1千万円と前年同四半期に比べ3億3千8百万円(△29.4%)の減収となり、営業損失は1千4百万円(前年同四半期は2千1百万円の営業利益)となりました。

東南アジア

売上高 5.9億円
営業利益 0.2億円

東南アジアにつきましては、自動車関連企業向け生産設備および自社製品の売上が減少したことなどにより、売上高は5億9千万円と前年同四半期に比べ2億4千9百万円(△29.6%)の減収となり、営業利益は2千1百万円と前年同四半期に比べ3千7百万円(△63.0%)の減益となりました。

NADEX NEWS

「NADEX Private Show 2023」開催

11月15日～17日 当社技術センター

「ものづくりを革新するトータルソリューション」をテーマに新材料やアルミダイキャスト等の新たなものづくりにも対応した当社の進化した抵抗溶接技術や最先端のレーザ加工技術のほか、ITを活用した検査ソリューションも展示。物流ソリューションでは、人手不足を補う構内物流自動化ソリューションが好評を博しました。

全国のお客さまにご来場いただき、入場者数はコロナ前と比較しても過去最多となり、当社のソリューションを実機デモを交えてご体感いただきました。



「第6回名古屋ロボデックス」出展

10月25日～27日 ポートメッセなごや

「品質機能の自動化革命！」をテーマに、目視検査が当たり前だった各工程の検査作業を自動化するソリューションを展示。実車を用いた自動検査のデモンストレーションも行いました。物流分野では、協働ロボットを使ったパレタイズシステム、牽引式助力台車をご紹介します。



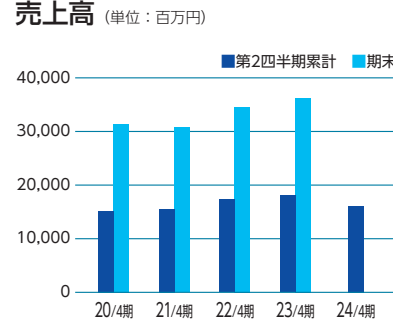
「第1回ものづくりワールド九州」出展

11月29日～12月1日 マリンメッセ福岡

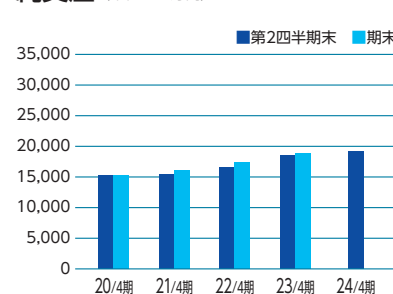
自動車・ロボット・半導体産業の集積が進む九州で初開催となる本展示会にて、「見たことが無いオンリーワン商材」と「ワンストップを叶えるエンジニアリング力」をコンセプトとして、3D外観検査装置やレーザダイシング等、半導体製造プロセス「後工程」を中心としたソリューションをご提案させていただきました。



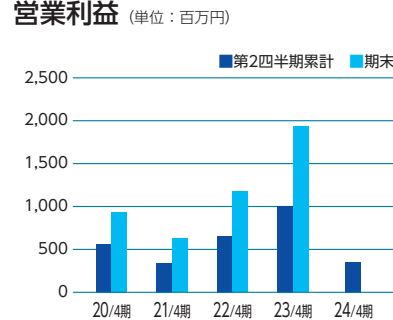
売上高



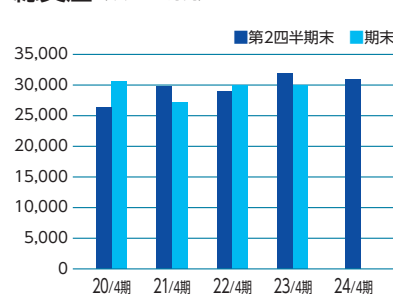
純資産



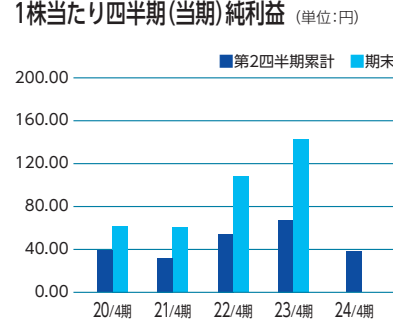
営業利益



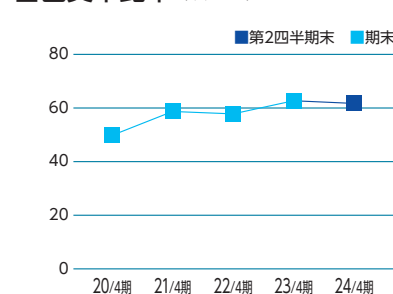
総資産



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



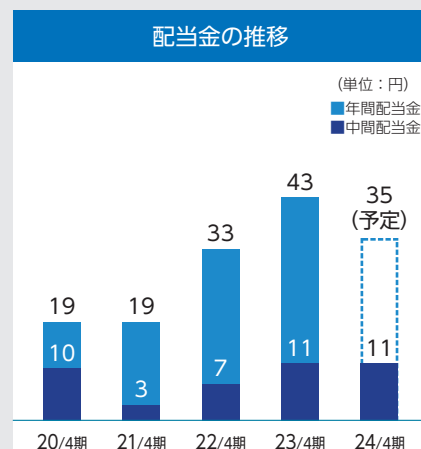
株主還元方針に関する考え方

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題と認識しており、財務体質の強化や将来の事業展開に備えた内部留保の充実などを総合的に勘案しつつ、業績に連動した配当を安定的かつ継続的にを行うことを基本方針としております。業績に連動した指標としては連結配当性向30%以上とします。連結配当性向により算出された年間配当金額が10円を下回る場合でも、年間10円の配当を堅持できるよう努めてまいります。著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合等については、その影響等を考慮し配当額を決定することがあります。

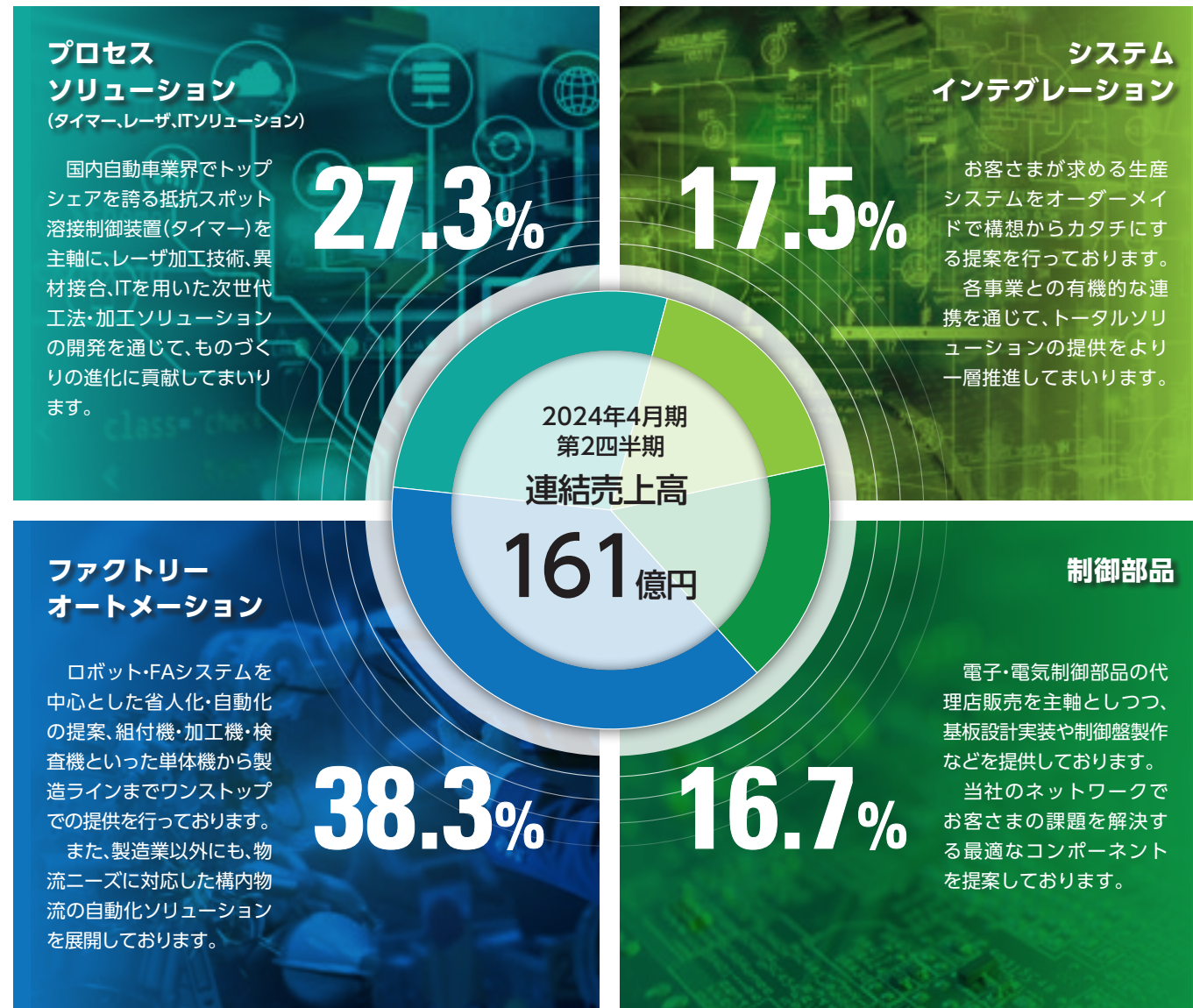
当事業年度の中間配当金につきましては、上記基本方針をふまえ、1株につき11円の配当とさせていただきます。

なお、当事業年度の年間配当金につきましては、1株につき35円とする予定であります。

配当金の推移



事業別売上構成比および事業内容



プロセスソリューション
(タイマー、レーザ、ITソリューション)

国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

システムインテグレーション

お客さまが求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。

ファクトリーオートメーション

ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

制御部品

電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客さまの課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。

会社概要

商号	株式会社ナ・デックス (英文名/NADEX CO.,LTD.)
本店所在地	名古屋市中区古渡町9番27号 TEL (052) 323-2211
設立	1950年10月
資本金	1,028,078千円

役員

取締役会長	古川 雅 隆
代表取締役社長	進藤 大 資
常務取締役	横地 克 典
取締役	本田 信 之
取締役	野口 葉 子
常任監査役(常勤)	渡邊 修
監査役	仙田 正 典
監査役	横井 陽 子

(注1) 取締役野口葉子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
(注2) 監査役仙田正典氏および横井陽子氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	40,125,000株
発行済株式の総数	9,605,800株 (自己株式590,670株を含む)
株主数	2,335名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アート・ギャラリー富士見	1,685,000	18.69
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	761,678	8.44
ナ・デックス社員持株会	269,127	2.98
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	241,400	2.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	236,200	2.62
古川 雅 隆	228,603	2.53
古川 佳 明	222,000	2.46
株式会社三井住友銀行	152,000	1.68
中山 美 和 子	144,000	1.59
青柳 和 洋	138,500	1.53

株主メモ

事業年度	5月1日～翌年4月30日
期末配当金受領株主確定日	4月30日
中間配当金受領株主確定日	10月31日
定時株主総会	毎年7月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.nadex.co.jp/
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報は当社のホームページにも掲載されております。